

全学教育科目に係る授業アンケートにおける エクセレント・ティーチャーズ (平成27年度)

高等教育推進機構では平成24年度から、全学教育科目に係る授業アンケート結果において、総合評点の値が上位となった専任教員のうちから次項選定基準に基づき、「全学教育科目に係る授業アンケートにおけるエクセレント・ティーチャーズ」として選定し、所属・職名・氏名・担当授業科目・総合評点をホームページで公表することとしている。

また、エクセレント・ティーチャーズのうち、各授業科目区分の最上位者から、当該授業科目の目的・内容・実効上の取組・工夫等について報告を得て紹介する。

教員から報告された授業への取組・工夫等については、学生へのフィードバックを目的として、また、教員のFDや教員相互の授業参照資料として公表する。

なお、平成23年度まで評価室が実施してきた授業アンケート結果の公表に至る検討の経緯や公表方法に関する考え方等は、平成15年度年次報告書（第1部第2章『学生による「授業アンケート」について』）や同別冊「学生による授業アンケート結果」(PDF)を参照願いたい。

なお、授業アンケートは学生の視点からの評価であり、この指標のみが授業の質や教員の教育能力を示すものではないことを付言しておきたい。

全学教育科目に係る授業アンケートにおけるエクセレント・ティーチャーの選定基準

1. 対象者

対象年度に開講した全学教育科目において、学生による授業アンケートを実施した授業科目を担当する本学の教員（非常勤講師を除く）とする。

ただし、アンケート提出者が9名以下の授業科目を担当する者は除く。

2. 選定方法

学生による授業アンケート結果において、文系・理系区分及び授業科目区分ごとに総合評価の値が上位の者から、原則、別表①の選出数に基づき全学教育科目におけるエクセレント・ティーチャーズとして選定する。ただし、総合評点（主要設問の評定値の平均）の値が4.00未満の者は除く。

なお、文系・理系区分は、担当教員の所属部局により別表②の「文系・理系区分」に基づき区分することとし、授業科目区分は、国立大学法人北海道大学全学教育科目規程（平成7年4月1日海大達第2号）第2条に規定する科目により区分することとする。

【別表①：選出数】

		一般教育演習	総合科目	主題別科目	共通科目	外国語科目	外国語演習	基礎科目	日本語科目
文系	15	2	1	4	1	4	2		1
理系	15	4	1	1	1		2		6

【別表②：文系・理系区分】

<文系部局>

文学研究科・文学部	公共政策学連携研究部	観光学高等研究センター
教育学研究院・教育学部	スラブ研究センター	外国語教育センター
法学研究科・法学部	国際本部留学生センター	アイヌ・先住民研究センター
経済学研究科・経済学部	高等教育推進機構	社会科学実験研究センター
メディア・コミュニケーション研究院	大学文書館	情報法政策学研究センター

<理系部局>

理学研究院・理学部	先端生命科学研究院	北方生物圏フィールド科学センター
医学研究科・医学部	保健科学研究院	創成研究機構
歯学研究科・歯学部	低温科学研究所	人獣共通感染症リサーチセンター
薬学研究院・薬学部	電子科学研究所	環境ナノ・バイオ工学研究センター
工学研究院・工学部	遺伝子病制御研究所	数学連携研究センター
農学研究院・農学部	触媒化学研究センター	サステイナビリティ学教育研究センター
獣医学研究科・獣医学部	情報基盤センター	トポロジー理工学教育研究センター
水産科学研究院・水産学部	アイソトープ総合センター	保健センター
情報科学研究科	総合博物館	環境健康科学研究教育センター
地球環境科学研究院	量子集積エレクトロニクス研究センター	

3. その他

- （1）上記2のエクセレント・ティーチャーズのうち、各授業科目区分の最上位者から、当該授業科目の目的・内容、実行上の取組・工夫等についての報告を得て紹介する。ただし、過去3年間に紹介したエクセレント・ティーチャーは除く。
- （2）一人の教員が複数の授業科目区分で最上位となった場合は、全ての授業科目について報告を得て紹介する。ただし、対象者の希望により、報告・紹介する授業科目をいずれか一つのみとすることができる。
- （3）上記（1）、（2）のただし書きに該当する場合、及び退職等で報告を得られない場合は、次点のエクセレント・ティーチャーから報告を得て紹介する。

全学教育科目に係る授業アンケートにおけるエクセレント・ティーチャーズ(平成27年度)

区分内 順位	文系 理系	授業科目区分	総合 評点	部局名	職名	氏名	授業 形態	必修 選択	授業科目名	講義題目名	提出 枚数
*1	理系	一般教育演習	4.96	触媒科学研究所	教授	高橋 保	演習	選択	フレッシュマンセミナー	有機合成触媒化学体験コース	18
2	文系	一般教育演習	4.9	高等教育推進機構	准教授	飯田 直弘	演習	選択	フレッシュマンセミナー	「よい授業」とは何かを考え実践する	22
3	文系	一般教育演習	4.88	国際本部	准教授	山田 智久	演習	選択	フレッシュマンセミナー	アカデミック プレゼンテーション	20
*4	理系	一般教育演習	4.87	遺伝子病制御研究所	教授	高岡 晃教	演習	選択	フレッシュマンセミナー	ミクロの世界を探る人体のしくみと病気	11
5	理系	一般教育演習	4.81	薬学研究院	准教授	今 重之	演習	選択	フレッシュマンセミナー	抗体を用いた医薬品開発	22
6	理系	一般教育演習	4.77	歯学研究科	准教授	高橋 茂	演習	選択	フレッシュマンセミナー	唾液のサイエンス～知られざるその能力～	18
1	文系	主題別科目	4.81	文学研究科	准教授	ホメリヒ カローラ	講義	選択	社会の認識	Happiness Studies: Introduction to concepts of well-being and their role in evaluating societies	19
2	文系	主題別科目	4.78	経済学研究科	助教	村上 明子	講義	選択	社会の認識	身の回りから考える途上国問題	20
3	文系	主題別科目	4.71	メディア・コミュニケーション研究院	教授	山田 澤明	演習	選択	社会の認識	シンクタンク情報分析 産業企業の国際化に触れる	20
4	文系	主題別科目	4.65	文学研究科	教授	北村 清彦	講義	選択	芸術と文学	美術館という現場	11
5	理系	主題別科目	4.46	理学研究院	教授	山口 淳二	講義	選択	科学・技術の世界	現代生物科学への誘い	28
1	文系	総合科目	4.53	国際本部	准教授	青木 麻衣子	講義	選択	人間と文化	外国人に日本語を教える	46
2	理系	総合科目	4.38	保健科学研究院	教授	前島 洋	講義	選択	健康と社会	障害とリハビリテーション	19
1	文系	共通科目	4.27	教育学研究院	教授	西尾 達雄	講義	選択	体育学B		126
*2	理系	共通科目	4.26	情報基盤センター	教授	水田 正弘	講義	選択	統計学		100
1	文系	外国語科目	4.73	メディア・コミュニケーション研究院	教授	奥 聡	演習	必修	英語	初級	11
2	文系	外国語科目	4.71	メディア・コミュニケーション研究院	准教授	金 ソンミン	講義	必修	韓国語		15
3	文系	外国語科目	4.68	メディア・コミュニケーション研究院	准教授	リチャードソン ピーター	講義	必修	英語		29
*4	文系	外国語科目	4.59	メディア・コミュニケーション研究院	准教授	ピアーズ ウィリアムソン	講義	必修	英語	中級:スピーキング	28
1	理系	外国語演習	4.81	歯学研究科	准教授	安田 元昭	演習	選択	英語演習	中級:英語で読む分子生物学	26
2	文系	外国語演習	4.8	メディア・コミュニケーション研究院	准教授	ピアーズ ウィリアムソン	演習	選択	英語演習	中級:An Introduction to International Relations	18
3	文系	外国語演習	4.71	文学研究科	教授	藤田 健	演習	選択	外国語特別演習	イタリア語基礎:イタリア語基本文法トレーニング	10
4	理系	外国語演習	4.66	水産科学研究院	准教授	パウア・ジョン・リチャード	演習	選択	英語演習	中級:Introduction to Marine Science「海洋科学入門」	21
1	理系	基礎科目	4.73	先端生命科学研究院	准教授	田中 良和	講義	必修	化学		68
*2	理系	基礎科目	4.69	理学研究院	助教	Elizabeth Tasker	講義	必修	物理学		14
*3	理系	基礎科目	4.65	工学研究院	教授	長谷川 靖哉	講義	必修	化学		71
4	理系	基礎科目	4.62	地球環境科学研究院	教授	大原 雅	講義	必修	生物学		58
5	文系	基礎科目	4.53	文学研究科	教授	宮内 泰介	講義	必修	人文・社会科学の基礎	人文科学入門	87
6	理系	基礎科目	4.48	理学研究院	准教授	坂井 哲	講義	必修	線形代数学		46
7	理系	基礎科目	4.47	理学研究院	准教授	小林 厚志	講義	必修	化学		54

□ :今年度の「授業内容・工夫等」執筆依頼者

*は過去3年の執筆者のため除く

授業科目区分毎の授業アンケート実施者数(延べ)

一般教育演習	125名
総合科目	43名
主題別科目	119名
共通科目	29名
外国語科目	105名
外国語演習	145名
基礎科目	207名
日本語科目及び日本事情に関する科目	5名
計	778名

